

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 秋桜

## 目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 7 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	理念は、玄関や見やすい場所に掲示し、職員全員に理解できるように取り組んでいるが、職員間で格差があるので、職員全員が理念を理解し、理念に基づいた介護サービスの提供が、実現出来るように取り組んでいく。	職員の申し送り時や、毎月の職員会議の中で理念を唱和したり、理念について、職員間で話し合い、理念を意識したケアの実践に取り組んでいく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が少ないので、参加委員を増員し、ホームの運営や、業務改善に反映出来る意見や要望を出してもらい、参加委員との信頼関係を築いていく。	参加委員を有識者、知見者、地域住民、民生委員等から募り、会議が活発な意見交換が出来るように取り組み、参加者から、参加して良かったという意見が出てくる会議を開催していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。